

「畑と食卓の新しいつながり方」 ～益田市の農家調査をもとに考える

昨年度の地産地消実態調査に引き続き、
今年度は地産地消の土台となる生産者にお話しをお聞きしました。

農家さんに聞いた現状と課題、共同出荷の事例の報告と、
益田の若手農家さんに農業の様子やこれからの展望のお話しをお聞きし、
地産地消、“不特定多数ではない”生産と流通のつながり方の全国事例から
新しい生産と流通のつながり方について考える会を開催いたします。

2020.2.21(金)

15:30～17:30 (交流会 18:00～)

参加費 セミナー 無料 / 交流会 5,000円

プログラム

(15:00 開場・受付開始)

15:30 主催者あいさつ、セミナーの進行説明

15:35 調査報告「益田市の農家調査」

報告者 田中 宏美 氏 ((一社) 持続可能な地域社会総合研究所)

16:05 新世代の生産者の声

ゲスト 豊田 翔一 氏

16:25 講義

「づくり手、売り手、買い手がつながる
～これからの売り方・届け方の可能性」

講師 甲斐 かおり 氏 (ライター/地域ジャーナリスト)

17:05 意見交換

「おいしい益田をつくる
～新しい畑と食卓のつながり方」

17:30 閉会

会場

MASCOS HOTEL

MASCOS BAR & DINING

(益田市駅前町30-20、ホテル1階ロビー横)



講師

甲斐 かおり 氏

長崎県生まれ。上智大学文学部卒業。会社員を経て2010年に独立。日本各地を取材し、食やものづくり、地域コミュニティ、農業などの分野で、大量生産大量消費から離れた価値観で生きる人の活動、ライフスタイルを雑誌やウェブに寄稿。携わった書籍に『日本をソーシャルデザインする』(朝日出版社)、著書に『暮らしをつくる』(技術評論社)、『ほどうい量をつくる』(ミシマ社編インプレス刊)。

定員 50名

お申し込み締切 2/16

お申し込みはこちら▶

※メールやお電話でお申し込みされたい方、
詳しくは裏面へ。



https://www.susarea.jp/news/app/20200117_01.html

※プログラムは予告なく変更することがございます。